

都市整備対策特別委員会行政調査報告から

【高松市】

サンポート高松地区（高松港）のまちづくりについて

1. サンポート高松地区（高松港）の概要

高松港は、四国の海の玄関口として、また本州や離島との海上交通の要衝として重要な位置にあり、商港及び観光港的機能のほか工業港として、四国の中枢管理都市高松市とともに発展してきた。高松港の港湾区域は、東は屋島西町長崎の鼻から女木島南端の帆樋の鼻を結び、西は生島町五色台紅峰東北端に至る長さ約12km、面積約3,100haと東西に長く広範なものとなっており、屋島、朝日、玉藻、西浜、弦打、香西、神在、生島の8地区がそれぞれの特色を発揮することにより総合的に機能している。

玉藻地区は、小豆島、直島などの離島や本州と結ぶフェリー、旅客船等の発着が集中する高松港の中心地区である。サンポート高松では平成13年に港湾施設の供用を開始し、23年度には2万t級岸壁を5万t級岸壁に増強し、大型クルーズ船も寄港するようになっており、市民のにぎわいと憩いの場としても親しまれている。

朝日地区は、高松港の物流の拠点となっている。高松港コンテナターミナルが整備され、平成9年の高松港－釜山港の国際コンテナ定期航路の就航以降、航路が増加し、現在、4航路（釜山、上海、青島、神戸）週7便が就航し、四国でも有数の外貨コンテナ取扱量となっている。

<サンポート高松地区（高松港）の位置>



＜昔のサンポート高松地区（高松港）の様子＞



2. サンポート高松地区（高松港）の再開発

＜再開発事業開始までの流れ＞

昭和63年 4月 瀬戸大橋開通



昭和63年 4月 宇高連絡船廃止



平成 8 年度 再開発事業の開始



平成 5 年度「サンポート高松」の愛称決定
 「サン」＝太陽、讃岐の“讃(さん)”
 「ポート」＝港

(1) 都市構造再編成集中支援事業（サンポート高松地区）

サンポート高松地区は、高松市の北部に位置し、高松市都市計画マスタープランにおいて、広域交流拠点として、多様な都市機能の集積と高度化を推進し、にぎわいの創出を図る地区として位置づけている。

高松港をはじめ、JR高松駅や琴電高松築港駅などの集まる交通結節機能やウォーターフロントという優れた環境を生かし、商業、官公庁、文化、交流、情報などの集積する四国の中枢都市拠点である。近年、瀬戸内国際芸術祭の開催なども相まって、島々の観光資源への関心が

高まったことを受け、外国人を含めた宿泊者数が大幅に増加していることなど、観光拠点の機能を有するハブ機能の役割も求められている。

また、新県立体育館（香川県立アリーナ）の整備をはじめ、高松駅ビル（タカマツオルネ）や徳島文理大学の建設等が予定されており、人流はさらに増加することが予想され、中心市街地も含めた回遊性の向上や交通結節機能の強化に併せて、風光明媚な瀬戸内の景観を生かした整備により、魅力的な地区づくりの実現を目指している。

高松市では、この実現を推進するに当たり、令和 3 年 9 月に高松市都市再生協議会を設置し、4 年 3 月にサンポート高松地区都市再生整備計画を策定した。

< 関連事業 >

- ・新県立体育館（香川県立アリーナ）整備事業（令和 7 年 2 月 24 日開業予定）
事業主体：香川県 全体事業費：190 億円
- ・高松駅ビル開発事業（令和 6 年 3 月 22 日開業）
事業主体：四国旅客鉄道株式会社
- ・徳島文理大学建設事業（令和 7 年 4 月開校予定）
事業主体：徳島文理大学
- ・外資系最高級ホテル建設事業（令和 9 年夏頃開業予定）
事業主体：四国電力

< 再開発の範囲 >



< 土地区画整理事業計画図 >



< 再開発後のサンポート高松地区（高松港） >



3. サポート高松地区（高松港）の今後の展開等



(1) 高松駅ビル（タカマツオルネ）

- デザインコンセプト「瀬戸内海の穏やかな海のゆらぎ」
- スーパーや飲食店など約50～60店舗を誘致
- 高松の玄関口として、『ここが目的地、出発地』となる施設



駅前広場側



北東側



(2) 徳島文理大学

- 最新の設備と美しさを兼ね備えた「都市型キャンパス」
- 令和 7 年 4 月開校予定で約1,300人の学生が通学
- 地上18階建て地下1階、図書館や体育館、音楽ホールなどを整備予定



このパースはイメージです



(3) 高級ホテル

- 高級ホテルを核とした観光の中心拠点を作る
- 地域固有の魅力を発信
- 国内外から旅行者を引き付ける
- 地上13階、客室数92室



(4) 新県立アリーナ

- 様々な用途に利用できる多目的アリーナ
- 最大収容人数は中四国最大級の約 1 万人
- サンポートの環境に調和した、利用しやすい施設



(5) サンポート高松地区のプロムナード化

- 車道を歩行者空間にする
- 周辺に住んでいる方や緊急時の対応を慎重に検討

【令和 6 年 5 月時点の方針（案）】

【県立アリーナ周辺道路】

- ・車道 4 車線を 2 車線に縮小して歩行者空間を拡大
- ・多目的利用できる空間として整備
- ・路上駐停車の抑制

【高松駅北側道路】

- ・車道 4 車線を歩行者空間化
- ・多目的利用できる空間として整備
- ・当面土日祝日の9時～21時は車両通行止め
- ・災害時や緊急時には関係車両が通行できる運用とする

地図出典：国土地理院ウェブサイト（地理院地図に追記）

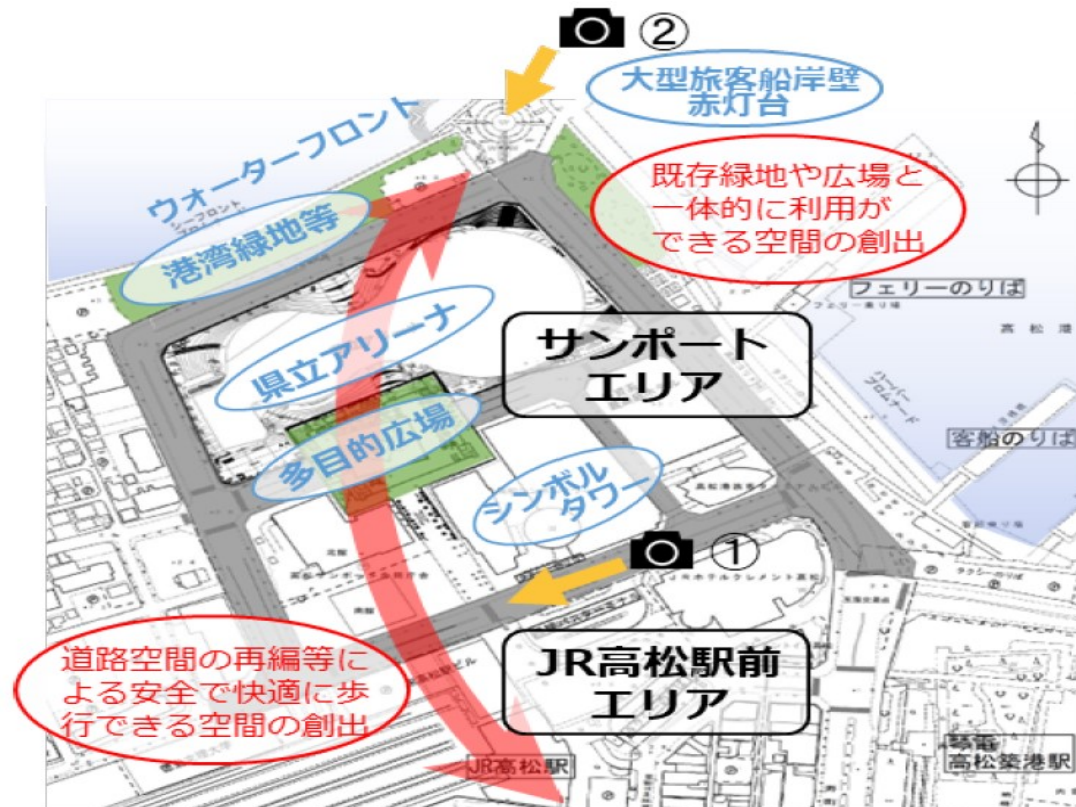


① プロムナード化の目的

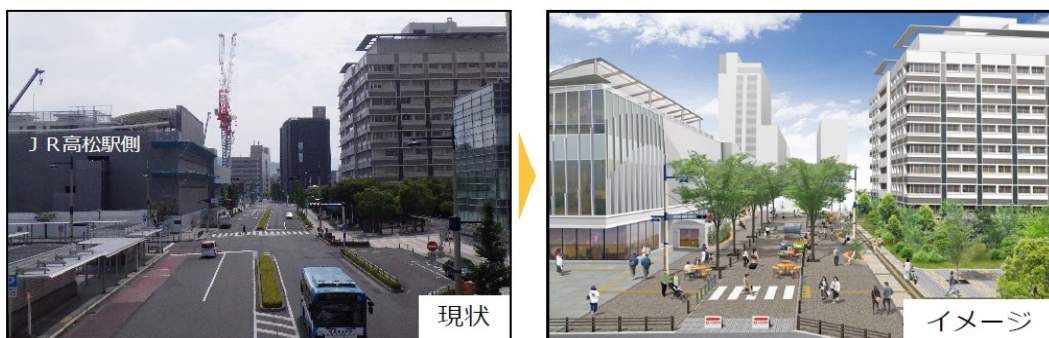
○ 県立アリーナでの大規模イベント開催時に、JR高松駅前エリアからサンポートエリアに向かって、安全で快適に歩くことができる空間にする

○ JR高松駅前エリアとサンポートエリアを一体的に活用できる空間にする

② プロムナード化を検討している範囲



③ プロムナード化のイメージ



(6) サポートFACTプロジェクト

○駅前広場などでキッチンカーの出店やイベントをしてくれる方を募集

○令和6年4～7月のイベント日数：107日、件数：154件

○スタートアップ企業や学生にも使ってほしい



<社会実験の実施状況（令和6年4月～8月）>

○電動バイクの展示（4月）



○音楽ライブ（5月）



○トライアスロン前夜祭（7月）



○サンセットバル（8月）



① JR長崎駅ビル（アミュプラザ長崎 新館）

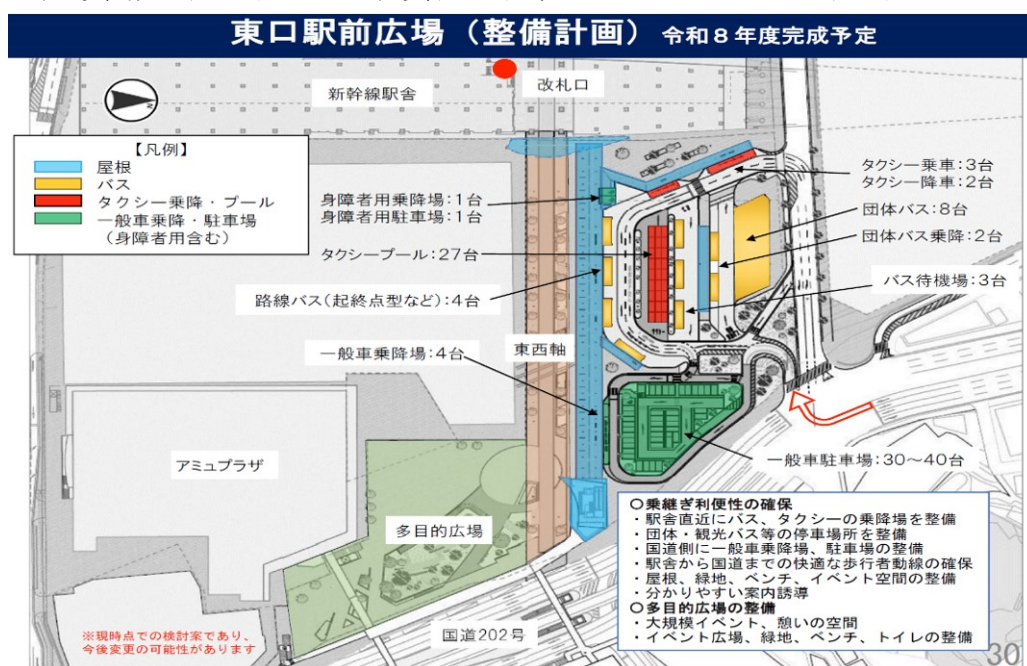
【施設概要】

- ・ 名 称 : アミュプラザ長崎 新館
- ・ 所 在 地 : 長崎市尾上町 1 番 1 号
- ・ 延床面積 : 約41,000㎡（地上 1～4 階、一部 5 階）
- ・ 営業面積 : 約21,700㎡
- ※新館・本館・長崎街道かもめ市場 3館合計 約47,900㎡
- ・ 駐車場 : 自走式立体駐車場（7層8段・収容台数約900台）

② JR長崎駅ビル（長崎マリオットホテル）

【施設概要】

- ・ 所 在 地 : 長崎市尾上町 1 番 1 号 ※JR長崎駅隣接
- ・ 延床面積 : 約20,000㎡
- ・ 階 数 : 地上 1 階、7 階～13階
- ・ 客 室 数 : 207室
- ・ 付帯施設 : オールデイダイニング、スペシャリティレストラン、バーラウンジ、カンファレンスルーム、フィットネスジム、エグゼクティブラウンジ
- ・ 開業時期 : 令和 6 年 1 月 16 日（火）
- ・ 社 員 数 : 約130人 ※正社員約100人、パート・アルバイト約30人



＜回遊性・2次交通利便性向上のための取組 1（国道部のバリアフリー化）＞

【課題】

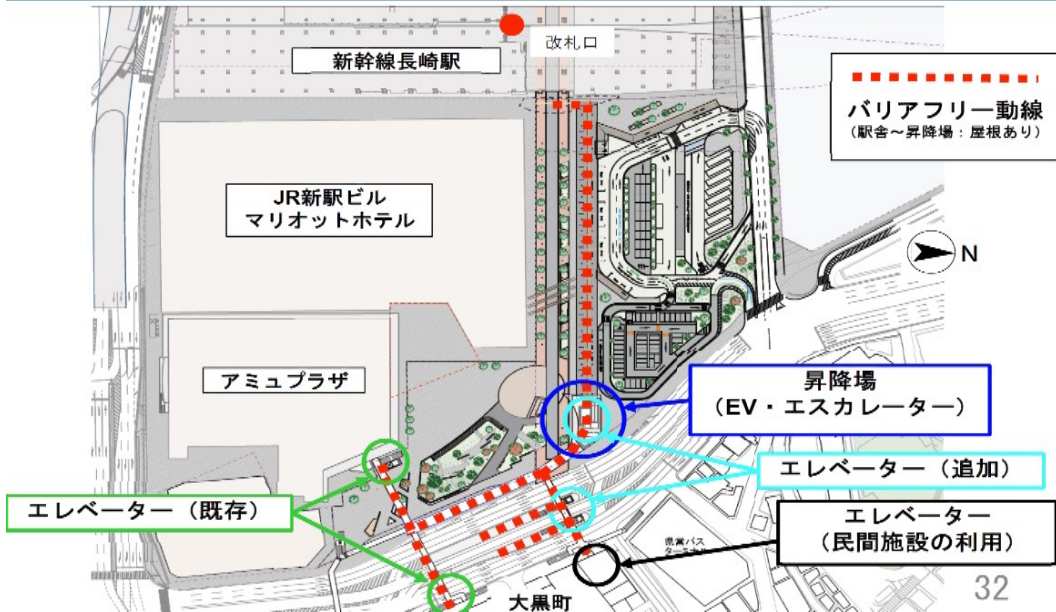
- ・ 長崎駅周辺の再整備に伴い、改札口が約150m西側へ移動
- ・ 長崎駅前電停は階段のみでのアクセス
- ・ 国道向かいの街区には南側のみエレベーター



【対応】

- ・ 駅舎⇔国道に屋根付きの歩行者動線を整備
- ・ 国道側に昇降場（エレベーター、エスカレーター、階段、公衆トイレを備えた施設）を整備
- ・ 電停にエレベーターを整備
- ・ 国道向かい（北側）にある民間施設エレベーターを一般開放

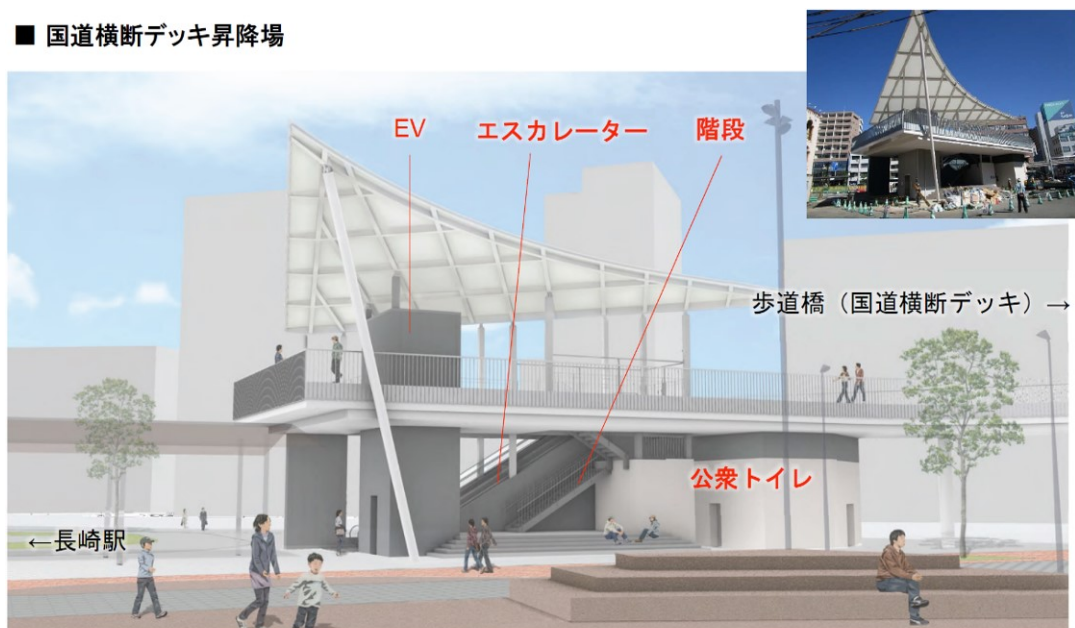
バリアフリー動線の確保
（長崎駅 ⇔ 国道202号・大黒町）



○バリアフリーの動線の確保（市施工）

⇒昇降場（歩道橋（国道横断デッキ）へ昇り降りするための施設）の整備

■ 国道横断デッキ昇降場



R4.12.23供用開始、事業費 約4億5千万円

○バリアフリーの動線の確保（県施工）

⇒長崎駅前電停へのエレベーター設置

■ 電停エレベーター



■ 民間施設エレベーターの一般開放



・新幹線開業前のR4.9.20供用開始
・事業費 約3億8千万円

<回遊性・2次交通利便性向上のための取組2（市・バス事業者による取組）>

【課題】

- ・長崎駅周辺再整備に伴い、駅改札口から主要バス停（国道沿い）までの距離が遠くなった。
- ・主要観光施設やまちなか（中心市街地）へのアクセス向上が求められた。



【対応】

- ・東口駅前交通広場の整備
- ・ながさき観光ルートバスの運行（長崎バス）
- ・まちなか周遊バスの運行（長崎バス・県営バス共同運行）

○観光ルートバス（ハートストーン号）概要

○梁川橋踏切



○浦上駅前交通広場



(3) 九州新幹線西九州ルート (武雄温泉～長崎)

<概要>

- ・区 間：武雄温泉～長崎間 約66km
- ・事業費：約6,197億円
- ・駅の位置：武雄温泉駅、嬉野温泉駅、新大村駅、諫早駅、長崎駅
- ・事業期間：認可 平成24～令和7年度末（開業：令和4年9月23日）

<経緯>

- ・昭和47年 基本計画決定
- ・昭和48年 整備計画決定
- ・昭和61年 環境影響評価報告書案を公表
- ・昭和62年 国鉄分割民営化（JR九州発足）
- ・平成19年 三者基本合意（長崎県・佐賀県・JR九州）

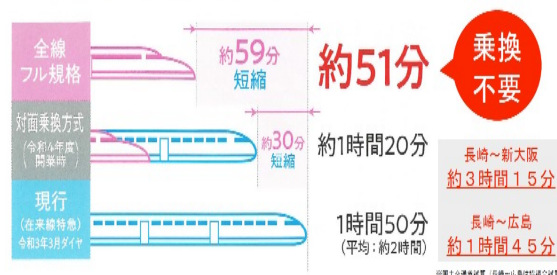
九州新幹線西九州ルート (ルート概要)



九州新幹線西九州ルート (所要時間)

大幅な時間短縮効果と新大阪直行運行！

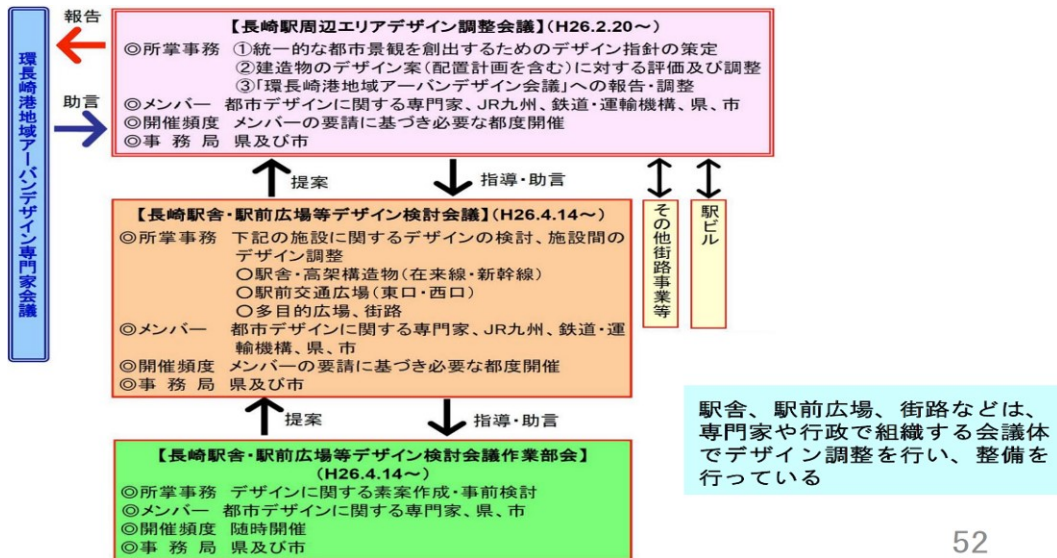
○長崎～博多間の所要時間（最速）



2. まちづくりの特徴

(1) 駅舎・駅前広場のデザイン調整

<体制>




52

(2) 機運醸成及び周知

① まちづくりシンポジウム


【第1回(平成26年4月13日)】

- ・基調講演及びパネルディスカッションを実施(参加者総勢300名)。
- ・アンケートでは、設計チームから提案されたデザイン案については、「大変良かった」が29%、「良かった」が45%と高い評価を得た。
- ・バリアフリー化、交通問題(自動車、バス、路面電車)、周辺施設へのアクセス性向上、駅舎施設(構造、高架下利用)、景観阻害施設、参加機会等に関する意見をいただいた。




【第2回(平成26年11月16日)】

- ・取組報告、ディスカッション、ワークショップを実施(シンポジウム参加者121名、ワークショップ参加者37名)。
- ・ワークショップでは、「新しい駅前広場の使い方」をテーマに、提案、発表。
- ・アンケートでは、東西軸の強化や周囲の風景のデザインへの活かし方等に関する意見をいただいた。



【第3回(平成27年11月8日)】

- ・基調講演、事例紹介(姫路市、日向市、柳川市)、事業進捗報告を実施(参加者総勢125名)。
- ・全体ワークショップでは、長崎駅周辺整備に関するニーズや今後の県民市民の関わり方等について、アンケートを行いつつ意見をいただいた。
- ・長崎駅のホームから見えた方が良い風景として「長崎港」と回答した方は参加者の62%、駅前広場をイベントで活用するべきと回答した方は47%であった。
- ・整備に対して市民の意見やアイデアを取り入れる取り組みを強化してほしいとの意見が多数寄せられた。



シンポジウムで市民からいただいた意見やアイデアを、「長崎駅舎・駅前広場等デザイン基本計画」に反映

61

② ワークショップ



長崎駅周辺におけるまちづくりの取り組みを市民に広く知ってもらうとともに、駅前広場が魅力的で利用しやすく、愛される場所となるよう、市民と一緒に考えていくことを目的にワークショップを開催。

- 第1回長崎駅前広場ワークショップ・シンポジウム（平成29年2月5日）
- 第2回長崎駅前広場ワークショップ（平成29年7月9日）
- 第3回長崎駅前広場ワークショップ（平成29年11月12日）

③ 現場見学会

連続立体交差事業、新幹線開業にかかる市民等の機運醸成のため、現場見学会を実施した。



高架工事現場見学会（H30.11.25）



新幹線駅舎見学会（R4.3.27）

④ 市民への周知

ア. 市広報誌（広報ながさき 令和4年3月号）

イ. 市ホームページ（YouTubeの活用）

(3) 長崎駅周辺まちづくり推進協議会

<体制>

長崎駅では、長崎駅周辺まちづくり推進協議会を設立しており、JRやアミュプラザのほか、半径500m以内にある会社や商店街、自治会等のメンバーで構成され、長崎駅に來られた方を長崎駅周囲に波及させようというコンセプトのもと活動を行っている。

News Release JR九州・JR九州グループ
2022年4月26日(木)
九州旅客鉄道株式会社長崎支社
長崎駅前地区まちづくり協議会
株式会社JR長崎シティ

西九州新幹線開業で生まれる新たな賑わい。
「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の未来へ繋がるまちづくりの実現に向けて
『長崎駅周辺まちづくり推進協議会』設立
～ながさきの新しいまちづくりが始まります～

2022年9月2・3日の西九州新幹線開業で新たな賑わいを生み出す長崎市全体へ波及させ、地域内経済の循環によりまちを活性化し、市民の暮らしを豊かにしていくため、長崎駅周辺関係者が長崎の発展に貢献しようという共通の思いを共有し、協働して「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の未来に繋がるまちづくりを実現することを目的に、このたび「長崎駅周辺まちづくり推進協議会」を設立することになりましたのでお知らせいたします。

設立日：2022年9月9日(月)
設立総会：2022年9月9日(月) 15時00分～
九州旅客鉄道株式会社長崎支社 会議室 ※設立総会は公開としておりますので、是非ご取材ください

■ 会長 藤原千明
長崎駅前地区まちづくり協議会 / 長崎駅前商店街組合 / 一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会 / 株式会社プレミア・ニュー長崎 ホテル長崎 / 松藤商事株式会社 / 長崎放送株式会社 / 九州旅客鉄道株式会社 / 株式会社JR長崎シティ

■ オブザーバー 藤原千明
長崎県 / 長崎市 / 長崎警察署 / 長崎商工会議所 / 株式会社ながさきMICE / JR長崎駅

■ 主な活動内容(予定)
(1) 情報発信の一元化
(2) 自治体利用促進
(3) 広域等の運営の一体化
(4) イベントの一体性
(5) 災害時対応の連携
(6) 清掃管理の連携
(7) 実証実験、社会実験
(8) 交通対策
(9) 防犯対策
(10) その他、本会の活動が必要とする事項
今年度は西九州新幹線開業に向け、連携した取組みを行ってまいります

【お問い合わせ】
長崎駅周辺まちづくり推進協議会設立準備事務局 (株式会社JR長崎シティ内) 担当：高山 / 藤原 TEL:095-829-6471

2024年1月24日開会

会員数	会員	オブザーバー	賛助会員	合計
	11	6	7	24

会員	オブザーバー	賛助会員
九州旅客鉄道株式会社長崎支社	長崎県	株式会社サンリン
長崎駅前地区まちづくり協議会	長崎県建設事務所	D X Y Z 株式会社
株式会社JR長崎シティ	長崎商工会議所	J R 九州エージェンシー株式会社
長崎放送株式会社	株式会社ながさきMICE	アサヒビル株式会社
長崎駅前商店街組合	九州旅客鉄道株式会社長崎駅	株式会社Fast Fitness Japan
一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会		JR九州サービスサポート株式会社長崎支店
株式会社プレミア・ニュー長崎 ホテル長崎		イオンフィナンシャルサービス株式会社長崎支店
株式会社グラバール		
西部ガス長崎株式会社		
株式会社ドコモCS九州長崎支店		
九州電力株式会社長崎支店		

協議会ホームページ
長崎駅周辺まちづくり推進協議会
「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」の未来に繋がるまちづくりを推進して

<活動>

長崎駅周辺のイベント情報をポスター等で案内しているほか、月に1回程度の清掃活動実施、長崎出身のジャズプレイヤーによる演奏イベント“NAGASAKI CITY JAZZ”も開催している。

長崎駅周辺まちづくり推進協議会
長崎駅周辺イベント情報

長崎駅周辺施設で開催するイベント情報をご案内いたします。
各施設・街でのイベントを、是非お楽しみください。

SCHEDULE 9
SEPTEMBER

月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
【長崎駅前商店街組合】8/11-11/30 第3弾 駅サイド応援チケット3 & スタンプラリー						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

【23日】西九州新幹線開業
【23日】西九州新幹線開業記念イベントのご案内
【長崎駅前広場】9/23-9/25 ながさき駅フェス
【西口駅前広場】9/23-9/25 長崎「食」の博覧会
【出島メッセ長崎】9/23-9/25 2022 MOTOR SHOW 出島メッセ長崎
他にも、グルメや関連商品で楽しみます
【ホテルニュー長崎】9/18-11/30 西九州新幹線開業記念レストランフェア
【ヒルトン長崎】9/7-10/31 西九州新幹線開業記念レストランフェア
【アミュプラザ長崎】9/23-10/30 西九州新幹線開業記念限定限定メニューフェア

長崎市の街の情報ならコチラをチェック
長崎市公式観光サイト
あなながさき

イベント情報発信



清掃活動(月1回実施)

異国情緒溢れる長崎の街並みに合う音楽イベント
『NAGASAKI CITY JAZZ 2024』開催
～今年度は5会場に拡大！11月の長崎は“JAZZ”で溢れる1か月に～



NAGASAKI CITY JAZZ